

## 多様な価値観がある中で

～ マラソン練習と自分の過去を振り返って考えたこと ～

校長 本間 智英

4月6日（火）に令和3年度の相川小学校がスタートし、ちょうど折り返し点になりました。先日は、ご多用の中、校内マラソン大会の応援にお越しいただき、誠にありがとうございました。また、お仕事等で来られなかったおうちの方も励ましのお声掛けをありがとうございました。

おうちの方の応援のおかげで、子どもたちは、今までの練習の成果+ $\alpha$ の力が出たようです。おうちの方の応援は、教職員以上の力があることを改めて感じました。

写 真

小学校生活最後のマラソン大会  
(9月28日 6年生)

さて、2学期が始まってマラソン大会までの間、今年度は体育の時間を中心に練習を進めてきました。その中で、全員が自分の目標タイム、目標順位を目指して一生懸命練習できればよいのですが、そうではなく、友達と話しながら走ったり歩いたりする子がいることも事実です（私も小学校6年生の時のマラソン大会がそうでした。反省）。

それはなぜでしょう。一生懸命走っても順位が下の方だから？ 順位が下の方だと恥ずかしいから？ もともと走ることは嫌いだから？ など、様々な理由が考えられます。ここには、無意識の中で、「優勝すること、〇位になることは素晴らしく、そうでないのは…」といった価値観が私（たち）にはあるのではないかと考えます。

勝ち/負けや、できる/できないに重きを置く場面もありますが、頑張っていること、努力していること自体をもっと価値付けることで、評価を気にせず頑張れる子が増えるのかな、といろいろ考えさせられた大会になりました。

### 児童のマスク着用について

新型コロナウイルス感染症予防のため、児童はマスクを着用し学校生活を送っています。

しかし、下記の場面では、児童の体調等を考慮しマスクを着用しない場合がありますのでご承知おきください。

- ・登下校時
- ・体育の時間（運動時）
- ・休み時間

（体を動かして遊んでいるとき）



### お声掛けに感謝します

あいさつ運動で立っていると、地域の皆様から子どもたちに温かい言葉を掛けていただいていることに気付きました。

上学年には「小さい子の面倒をしっかりみているね」、下学年には「頑張れ！ もう少しだよ」など。

家庭や学校だけでなく、子どもは「地域の皆様」からも育てていただいていることを実感しました。紙面ではありますが、感謝申し上げます。ありがとうございます。